

環境ソリューション活動

環境への意識の高まりと問題解決のニーズに応え、FDKグループ企業では、環境に特化したビジネスを展開しています。

(株)富士電化環境センターの事業活動

洞爺湖サミットに象徴される様に地球温暖化防止対策や企業ベースでは有害物質の使用規制(RoHS/ELV)および登録義務(REACH)やアスベスト、PCB有機溶剤等の拡散防止や土壌汚染対策など、地球規模での問題が注目されてきました。

(株)富士電化環境センターは、1976年設立以来、分析技術や環境調査技術を基に企業や地域の環境保全に取り組んでおります。最新の環境技術、設備、情報やネットワークなどグリーンIT技術を駆使してお客様のニーズにお応えしております。

グリーン調達に係る有害物質調査と信頼性試験

EU(欧州連合)でのRoHS指令、REACHを代表として、世界各地で化学物質規制が強化されています。これに伴い、世界中で有害化学物質を含まない製品づくりが一般化してきました。当社はグリーン調達に係る含有化学物質調査をとおして、環境負荷低減の製品開発、生産の支援を行っております。グリーン調達はお客様の製品開発、生産に直結しているため、当社では正確かつ迅速な分析を常に心がけております。

また最近では、揮発性有機化合物(VOC)の排出抑制規制が施行されたことにより、充実した測定装置を取り揃え、VOC測定・分析にも積極的に取り組んで、製品開発のサポートをしております。

環境に配慮した部品を用いて製品を開発した場合、これまで発生しなかった問題や解決済みと考えられていた問題が再発することがあります。例えば鉛フリーハンダなどの接合強度の劣化を迅速に調査する為、冷熱衝撃試験機や、電子顕微鏡断面研磨器など、故障解析機器を用意してお客様の御要望にお応えするための、一貫した受託サービスを提供しております。



ICP分析装置



熱衝撃試験機



アスベスト測定用位相差分散顕微鏡



X線回折装置

土壌・地下水汚染の総合的な調査と対応

2003年2月土壌汚染対策法の制定以降、土壌・地下水汚染について法や条例に関する調査のみならず、土地取引等の際に実施される自主的調査が定着化してきています。また、土壌汚染対策債務が企業会計に組み込まれることが義務付けられたことで、社会的ニーズは益々高まっています。

当社では、長年培った技術により資料等調査から現地調査および浄化対策までを一貫して実施し、お客様のニーズに合わせて対応しております。

フェーズ1
資料等調査

フェーズ2
現地概況
詳細調査

フェーズ3
浄化対策

アスベストの含有率分析

アスベストの規制は2006年9月1日より含有率が1%から0.1%へ、また2008年2月6日より対象物質が3物質から6物質へと強化されております。より高精度で迅速な分析が強く求められている中、当社ではお客様のニーズにお応えすべく分析体制を整えて対応しております。

事業内容

環境測定分析/環境アセスメント
(大気・水質・騒音・振動・悪臭・土壌等の分析、作業環境測定)
土壌・地下水汚染調査/対策
グリーン調達支援のための分析調査
材料分析・信頼性試験・計測器校正業務
シックハウス物質測定、VOC放散量測定
環境設備設計施工管理

株式会社 富士電化環境センター

創立 1976年1月24日
資本金 7,000万円(FDK株式会社 全額出資)
従業員数 45名
代表取締役社長 前田 丈夫
所在地(本社) 静岡県湖西市鷺津2281番地
TEL 053-576-0841 FAX 053-576-5258
<http://www.fdk.co.jp/service/index.html>

FDKエコテック(株)の事業活動

FDKエコテック(株)は富士通りサイクルシステム(FRS)の中部リサイクルセンターとして、使用済みパソコンなどの情報機器のリサイクル事業を行っています。回収した資源のリサイクルを行うことで、資源循環型社会の形成を目指しています。当社は2002年には、業界としていち早く環境国際規格であるISO14001の認証を取得し、2003年度には、OA機器に関する取り扱いにおいて廃棄物ゼロエミッションを達成いたしました。

お客様サービスの拡大と再資源化の促進

当社は、蛍光管や発泡スチロールなどの取り扱い品目を増やすとともに収集運搬エリアの拡大にも努めてきました。回収した機器をリユースまたはリサイクル可能な単位まで分解・分別することで資源の有効利用を図っています。

当社の特長

- FRSルートと当社直接ルートでの処理に対応
- 収集・運搬から処分までの一貫処理
- 情報機器および各種電子機器のリサイクル
- 専門性を生かした大型機器の現地での解体・搬出
- 電子機器内に含まれる有害物質の適正処理

リサイクル化の例



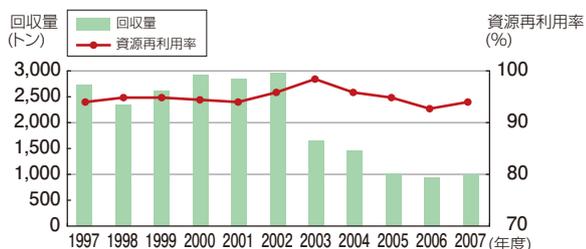
解体・分別されたIC



再資源化(貴金属等)

回収量と資源再利用率

2007年度の回収量(受け入れ量)は、964.5トンで資源再利用率は、93.3%となりました。



取り扱い品目

- コンピュータおよび周辺機器
- ワープロ、ファクシミリ、複写機
- 通信機器
- 銀行端末(ATM)
- 電話機、携帯電話、交換機、POS端末
- 磁気テープ、カセット、フロッピー、機密文書等
- OAディスク、ラック(木製品を除く)

セキュリティ対策

富士通りサイクルセンター処理基準に則った各種セキュリティ対策を行うとともに、受託品の処理から最終処分までの状況が追跡できるトレーサビリティ確保への取り組みを進めています。

顧客情報漏洩防止

記憶メディア内のデータ消去や物理破壊など個人情報保護ポリシーを定めて運用しています。

施設内のセキュリティ対策

施設内の監視カメラ設置、常時施錠による入退出管理などの対策を行っています。

トレーサビリティの実践

富士通りサイクル統合情報管理システムの導入により、適正な廃棄物管理をオンラインで行い、徹底したトレーサビリティとセキュリティの確保に努めるべく、2007年度からテスト運用を開始しました。



リサイクル統合情報管理システム

ホームページの開設

2007年8月に当社のHPを開設しました。当社の事業内容および資源循環型社会の実現に向けた取り組みを紹介するとともに、各種お問い合わせに対応できるようにしています。



当社のホームページ

URL : <http://www.fdk-ecotech.com/index.html>

FDKエコテック株式会社

設立 1997年3月10日
 資本金 3,000万円(FDK株式会社 全額出資)
 従業員数 15人
 代表取締役社長 中澤 正典
 住所 本社：静岡県湖西市鷺津2281番地
 事業所：岐阜県海津市平田町土倉478
 TEL 0584-66-4781 FAX 0584-66-4791